

早稲田学区社会福祉協議会

基本情報

活動拠点 早稲田集会所(東区牛田東二丁目11番23号)
わせだコミュニティハウス(東区牛田早稲田三丁目5番16号)
開設日 毎週月～金
開設時間 9時～12時 (事務局員はシフト制勤務のため常駐していない時間帯有)

構成・連携団体

<構成団体>

牛田東二丁目上町内会、牛田東四丁目町内会、牛田早稲田二丁目上町内会、牛田早稲田三丁目町内会、牛田早稲田四丁目町内会、早稲田学区体育協会、早稲田女性会、早稲田学区青少年健全育成連絡協議会、早稲田学区公衆衛生推進協議会、早稲田学区防犯組合連合会、早稲田学区自主防災連絡協議会、早稲田学区老人クラブ連合会、早稲田学区献血推進協力会、東地区更生保護女性会(早稲田)、広島市立早稲田中学校、広島市立早稲田中学校PTA、広島市立早稲田小学校、広島市立早稲田小学校PTA、広島女学院大学、広島女学院ゲーンズ幼稚園、早稲田公民館、早稲田児童館

<連携する役職者>

民生委員児童委員10名、保護司4名、青少年指導員6名、東警察署少年補導共助員1名

活動内容・PRポイント

○ 活動内容

早稲田学区社協では「人にやさしく、人がやさしい、思いやりのあるまち早稲田」を合言葉に、活動拠点の整備をはじめ、地域コミュニティの活性化や、地域の各種団体の更なる連携の強化を実現させるために、次の事業に取り組み、地域住民が心身ともに豊かで、郷土愛にあふれ、住みやすく活力あるまちになることを目指して活動を行っています。

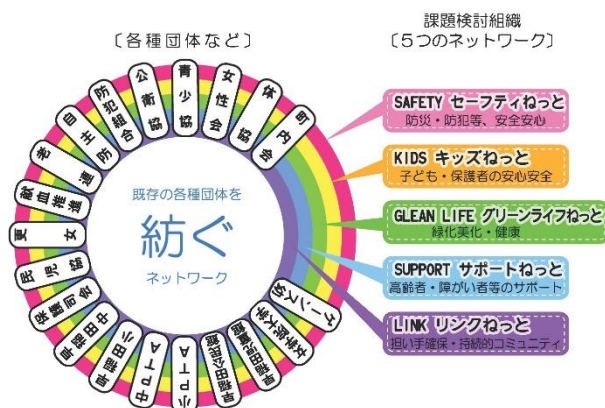
<令和8年度の事業>

区 分	内 容 ・ 目 的	実施時期
活動拠点の整備	第2拠点の「わせだコミュニティハウス」をサードプレイスの場として、世代間交流活性化の推進	通年
ネックストラップ整備	見守り活動の推進と地域全体で見守る機運の醸成	通年
盆踊り大会	コミュニティの活性化と地域団体の連携強化	7月25日(土)
わせだLMOスポーツ大会	コミュニティの活性化と地域団体の連携強化	10月12日(日)
見晴らし案内板改修	H25に早稲田団地に設置した案内板の老朽改修	11月目途

○ PRポイント

早稲田学区社会福祉協議会(LMO)(以下早稲田LMOと言う。)の特徴①は、社会福祉協議会の機能とLMO機能を併せ持った組織であること、特徴②は、基本情報に記載の連携団体は、LMOに認定される前から、右図のように5つのネットワーク(令和7年度までは7つ)で連携した活動を行っていたことです。

早稲田LMOの活動は、2階建ての形態(早稲田社協の組織構成が1階に、早稲田LMOは2階に位置付けるイメージ)で従来の早稲田社協の運営を基本とし、早稲田社協や各種団体と連携して、上記活動内容の実現を目指して日々活動しています。



広島市LMOづくりサポート事業の対応者等について

○ 派遣型(対応可)



おさだ てるよし
会長 長田 照義

一言コメント

早稲田学区でのLMO設立の地域合意形成の方法(ノウハウ)等についてお伝えします。
また、ご要望があれば、早稲田社協の各種団体と連携した、事業(まちづくり)の進め方についてもお伝えします。

かわしま たかし
事務局長 川島 孝
かんざき としこ
事務局次長 神崎 敏子
(2名はLMO事務員) なかむら ひろみ
中村 浩美

一言コメント

早稲田LMOの設立に向けた準備や、事務局員雇用に関する諸手続き・日常管理業務の実施方法等についてお伝えします。
また、昨年、今年度実施(予定)のLMO事業について、その概要の説明等、その他ご要望にお応えします。

○ ツアー型(対応可)

パッケージでの受入可能人数 15 人(個別に相談に応じます)

オプションで対応可能な事業等は以下のとおりです。

事業名等	概要	見学・体験	受入可能人数	写真
活動拠点の整備状況	第一拠点 早稲田集会所 令和5年に、LMOの拠点として開設	見学	15人	
	第二拠点 わせだ コミュニティハウス 令和6年に第二拠点として開設、令和7年度に什器等整備	見学	15人	
道草カフェ実施状況	毎月一回開催 注：早稲田学区社協の事業として実施中	見学	10人	

注意事項

お車でお越しの場合は、事前に台数をお知らせください。
また、公共交通機関でお越しの場合等、不明な点がございましたらお問い合わせ下さい。